

鳥羽市予算決算常任委員会会議録

令和2年3月31日

○出席委員

委員 長	浜 口 一 利	委 員	南 川 則 之
委 員	濱 口 正 久	委 員	瀬 崎 伸 一
委 員	片 岡 直 博	委 員	奥 村 敦
委 員	河 村 孝	委 員	山 本 哲 也
委 員	戸 上 健	委 員	坂 倉 広 子
委 員	坂 倉 紀 男	委 員	世 古 安 秀
議 長	木 下 順 一		

○欠席委員

副 委 員 長 中 世 古 泉

○出席説明者

- ・ 立花副市長
- ・ 山下企画財政課長、北村補佐、中村係長
- ・ 濱口観光課長、小島補佐、村田係長、杉本係長

○職務のために出席した事務局職員

事 務 局 長	清 水 敏 也	次 長 兼 議 事 総 務 係 長	木 田 崇
---------	---------	----------------------	-------

(午前10時15分 開議)

○浜口一利委員長 皆さん、おはようございます。

予算決算常任委員会を開会します。

本日、審査をします案件は、議案第93号、令和2年度鳥羽市一般会計補正予算（第1号）の1件であります。

審査に入る前に、委員の皆様申し上げます。

質疑については関連質問で進めていただき、質問内容が前後することがないように、進行についてご協力ください。

それでは、審査に入ります。

議案第93号、令和2年度鳥羽市一般会計補正予算（第1号）の概要と歳入について、執行部の説明を求めます。

副市長。

○立花副市長 おはようございます。副市長の立花でございます。

予算決算常任委員会の審査に当たりまして、私からは議案第93号の令和2年度一般会計補正予算案につきまして、改めてご説明申し上げます。

議案第93号、令和2年度鳥羽市一般会計補正予算（第1号）につきましては、歳入歳出ともそれぞれ560万円を追加し、補正後の総額を124億3,160万円とするものです。

歳入歳出の詳細につきましては所管課長から説明させますので、ご審査賜りますようお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、私からの説明を終わります。

○浜口一利委員長 企画財政課長。

○山下企画財政課長 失礼します。企画財政課の山下です。よろしくお願いいたします。

それでは、補正予算書の6ページ、7ページをお願いします。

歳入18款繰入金、1項基金繰入金、目5観光振興基金繰入金でございます。観光振興推進事業で新型コロナウイルス感染症による影響に係る宿泊事業者緊急対策事業の財源として、観光振興基金から繰入金560万円を増額するものです。

以上で歳入の説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○浜口一利委員長 説明は終わりました。

これより質疑を行います。

まず、歳入についてご質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

○浜口一利委員長 ありませんね。

それでは、ないようですので、続いて歳出の審査に入ります。

6款観光商工費について審査をします。

それでは、担当課長の説明を求めます。

観光課長。

○濱口観光課長 観光課、濱口です。よろしくお願いします。

補正予算についてご説明のほうをさせていただきます。先般3月27日におきます準備等々に関しまして、ご承諾等をいただきましてありがとうございました。

それでは、予算書のほうの9ページのほうをお願いします。予算説明資料は最後のページになります。

6款観光商工費、目2観光商工費でございます。事業名、観光振興推進事業で560万円を計上するものでございます。内容につきましては、新型コロナウイルス感染症による市内宿泊事業者への緊急経済支援対策を講じ、消費活動の促進を図るものでございます。一部マスコミ等によりまして流れておりますことから、プランの説明が後になりまして大変申し訳ございませんが、チラシのほうで説明をさせていただきたいと思っておりますので、チラシのほうをごらんいただきたいと思っております。よろしいでしょうか。

まず、対象人数は1,000人といたしております。そして、事業の名称は鳥羽市民限定特別宿泊キャンペーンということで、みんなで泊まってまちを元気にというキャッチフレーズで進めてまいります。内容は、1人1泊で5,000円を割り引きするものでございます。また、離島への宿泊の場合には定期船代を考慮しました1,000円を上乗せした6,000円を割り引きいたします。期間は4月1日から5月31日までの宿泊としております。利用対象者につきましては、鳥羽市民であること、また市民を代表する市外在住者を含むグループも対象といたしました。その場合には市民1人につき4人までの市外在住者の割引が対象となります。したがって、市民を含め5名までというふうになります。そして、対象は大人と小学生以上を対象といたします。

次に、利用方法につきましてでございます。利用方法につきましては、観光協会のホームページなどから宿泊施設のほうを選んでいただきまして、それぞれに電話で予約をしていただく形になります。ここで各施設がキャンペーンとして準備するプランを確認していただきまして、予約していただきます。その際に当キャンペーンの利用である旨を伝えていただくこととしております。ただしホームページやウェブサイトからの予約は対象外としております。この理由といたしましては、予約の段階でのキャンペーン予約であるか、通常のOTA、いわゆるじゃらんや楽天などの予約であるかの判断がつきづらいということから、当日までその判断が分からないということが発生しますので電話での直接予約としております。

そして、チェックインの際には、鳥羽市民であることの証明として免許証、保険証、またはマイナンバーカード等で確認を取らせていただく形になります。また、そのときにはコピーを取らせていただく形を取ります。精算の際、お客様は施設側に割引後の金額をお支払いいただく形になります。ただし連泊する場合は1日目のみ対象といたしまして、2日目以降は対象外といたします。

そして、最後に、利用される際の注意事項といたしまして、発熱等の風邪の症状がある方は宿泊をご遠慮していただきます。また、国から緊急事態宣言が発令され、三重県から自粛要請があった場合には、キャンペーンは一旦休止することとしております。また、市内で感染者が確認された場合にも同様に一旦休止をいたしまして、状況を見て再開、再募集等をしたいと考えております。そして、当初の期間内を待たずに募集人員が埋まってしまった場合にはそこまで終了といたします。逆に5月31日時点でまだ募集枠に余裕がある場合に

は、期間を延長し、再募集等をしたいというふうに考えております。

概要説明が遅くなりまして大変申し訳ございませんでしたが、以上が緊急経済支援対策の概要でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○浜口一利委員長 担当課長の説明は終わりました。

6款観光商工費についてご質疑はございませんか。

○瀬崎伸一委員 とてもいいことだと思います。ぜひ一生懸命やっていただきたいと思うんですけども、一つだけお伺いをいたします。5,000円分は宿泊施設は割引いた上でお客さんから頂くという形になると思うので、いわゆる5,000円を市が負担する、その決済のタイミングというのはいつ頃になるのでしょうか。

○浜口一利委員長 観光課長。

○濱口観光課長 この事業を観光協会さんのほうへ委託してやっていただこうと考えておりまして、そちらで決済方法といたしまして、一旦ある程度まとまった上で時期を見て支払いという形を取っていただきたいというふうに考えております。

○浜口一利委員長 どうぞ。

○瀬崎伸一委員 要望に近くなりますけれども、恐らくは少しでも現金、キャッシュが欲しいというのが今の現状であろうと思います。決済のタイミングも見計らって、本当にできるだけスピーディーによろしくお願いいたします。

○浜口一利委員長 他にございませんか。

坂倉委員。

○坂倉広子委員 これは1人1回までなのか、であるのかということが一つの質問と、もう一つは、この1,000名というカウントというのほどこ、観光協会さんがまとめられるのか、ちょっとこの2点をお伺いします。

○浜口一利委員長 観光課長。

○濱口観光課長 まず、1点目の1人1回なのかということに関しましては、何回でも行っていただいてもいいかと思います。どんどん泊まっていれば市民の方がいいかなというふうに考えております。

2点目ですが、カウントの仕方につきましては、観光協会さんのほうで予約の入った時点で各ホテルから観光協会へ予約がありましたということで連絡いただきまして、その時点で積み上げていく形を取りまして、だんだん900に近づいてきたらもうわずかというところの判断をして、各旅館さんには連絡がたって、まだ受けられるかどうかというのを判断していきたいというふうに考えております。

○坂倉広子委員 2カ月間という期間でありますので、先ほど聞かせてもらったように1人1回ではないということと、それと、ここまで来てもう駄目でしたよということがないということが分かるということが確認ができましたので分かりました。よろしくお願いいたします。

○浜口一利委員長 他にございませんか。

戸上委員。

○戸上 健委員 何点かお聞きします。

一つは、4月1日からの事業実施で、3月31日のいわば異例の我々は予算決算常任委員会になったわけです。市内旅館、宿泊業界がキャンセルが相次いで経営が危機に瀕しているということは、2月段階から、1月の半ばから2月段階で分かっておりました。こんな手を打つのなら何で3月の補正予算に上程されずに今になったのか、これをまず説明してください。

○浜口一利委員長 観光課長。

○濱口観光課長 当初3月で打てないかということも議論はいたしました。ただ既決予算でも動くことが可能であればそれで動きたいなという内容はあったんですが、やはりちょっと難しい部分でございましたので、できれば3月の議会の最中でありましたので、できれば2月の令和2年度の予算の第1回目の補正という形でいきたいということで、財政等とも相談しまして判断いたしました。

○浜口一利委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 志摩市は同じような5,000円、市内に限って市内宿泊、同じような事業を取りました。しかし、これも3月の補正で3月27日に議決しております。何か泥縄のような、やることは僕は賛成なんだけれども、非常に遅かったというふうに思います。もっと早くからこういうキャンペーンも張っておれば、キャンセルが相次いだ旅館業界、宿泊業界へのフォローになったんじゃないかというふうに思うんです。補正の段階で出ておれば、こういうことを補正で計上しておりますというのは、僕らも議員も心配なさっておる市民にPRできたわけで、それは非常に残念です。

それから、次にお聞きしますけれども、550万円か、投じてるわけですからけれども、波及効果というのはどの程度見ておりますでしょうか。

○浜口一利委員長 観光課長。

○濱口観光課長 企画調整のほうで一応相談しましてはじいてもらいました。1人大体1万3,000円の宿泊としますと約3.5倍ぐらいの効果があるだろうというふうには考えております。

以上でございます。

○浜口一利委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 そうすると、キャンセルがひどいところでは9割キャンセルという状況も僕らの耳に入っております。どの程度これでカバーできるのでしょうか。

○浜口一利委員長 観光課長。

○濱口観光課長 どの程度カバーできるかという数字は持っていませんが、ある程度市民の意識と観光施設への下支えができればというふうに考えておまして、今回の補正を考えたところでございます。

○浜口一利委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 焼け石に水の懸念もするけれども、手を打たないよりはまだましだというように思います。市民が市外の人を4人までオーケーということで、市民の間ではこれが既に知られておって、昨日も三重県内で2人発生しておるけれども、鳥羽市内で発生すれば中止という先ほどの報告だったけれども、一遍に客足は止まるというふうに思います。市外からのその辺りのリスクをどの程度見ているのか。志摩市の場合は、市外は駄目ですわね。市内の住民に限ると、市民に限るということでした。鳥羽は外部もオーケーだということにしました。その辺りをどういうふうに判断したのか教えてください。

○浜口一利委員長 観光課長。

○濱口観光課長 昨日の三重県の知事からの発表で県外への自粛要請もあったところなのですが、日々刻々と状況が変わっておりますので、取りあえず私どもが市外を含めましたのは、県内の動きやすいところがたくさん多分来るだろうというふうを考えて市外も対象といたしたところもあります。特に想定として、大阪、名古屋から遠いところから来ていただくというのはあまり頭にはなくて、できたら近隣の三重県内ぐらいからという意味の市外というふうに想定はしていたんですが、取り方によっては県外も取れるということがあります。ただこの辺も昨日の三重県知事の判断によりまして、状況によっては、その辺は宣言等がありましたらある程度縮小、その分を規制をかけていきたいというふうを考えております。

○浜口一利委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 全国では島根や鳥取は発症していないもんで、観光がそこに殺到するような状況も生まれております。ほかの県から、その辺りは懸念するところです。市民の間でもそれは大丈夫なのかという心配の声も出ておるのは確かです。

それで、今、観光業界、宿泊業界の困っておるのは、キャンセルですわね。キャンセル料をほとんど取っておりません。それは終息してから来ていただければ、それでおもてなしをして、我々鳥羽の観光業界というのは持ちこたえるというような思いをなさっております。キャンセル補償ということも、これは全国的には希望、要望されておりますけれども、鳥羽はちょっと様子見という状況なんでしょうか。国の施策の様子見ということなんでしょうか。

○浜口一利委員長 観光課長。

○濱口観光課長 戸上委員おっしゃるとおりで、その辺りは全国的に広がっておりますので、国の動き等がありましたらそれに同調していきたいというふうを考えております。

○浜口一利委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 旅館事業協同組合から固定資産税の減免が出ております。要請が出ております。そして、全国では固定資産税を含む国保税についても減免や……

○浜口一利委員長 戸上委員、そこまでちょっとと言及しないでください。あくまで観光課の事業ですもんで、1度や2度ぐらいは考えているとは思いますが……

○戸上 健委員 分かりました。じゃ、以上です。

○浜口一利委員長 山本委員。

○山本哲也委員 先ほど戸上委員も触れてもうたところなんですけれども、市外のところを確認なんですけれども、今のところ止めるつもりはないという考えでよろしいのでしょうか。

○浜口一利委員長 観光課長。

○濱口観光課長 今、4月1日のスタート、明日からのスタートということで、取りあえず今このまま動きますが、状況を見ていろんな対策を打っていきたいというふうを考えております。

○浜口一利委員長 山本委員。

○山本哲也委員 私の考えですと、ここは外したほうがいいんじゃないかなというふうに思っています、三重県のほうも、今8都府県ですか、移動制限、要請を出していますので、想定では近隣市町を想定されるとの

ことですけれども、この文言だけですとその想定を外れて、そういった自肅要請を出しておるところからも来ていただくことを、どう言うんですか、呼び込んでしまうというような動きになってしまうんじゃないかなというふうに思いますんで、この辺は広げないためにも、やっぱその辺は鳥羽市としては一旦市外のほうの対応はちょっと止めてもらったほうが僕はいいいんじゃないかなというふうに思いますんで。状況が状況で、提案したときなりとはちょっと風向きも変わってきとるんじゃないかというふうに懸念しています。確かに市内、伊勢保健所管内ではまだ発生という報告はないので市内の方が動く分にはあれなんかもしれませんけれども、外から来ていただくことに関してはちょっと待ったをかけてもいいんじゃないかな。そこについては、また理解もしていただけるんじゃないかなというふうに思いますんで、早急になかなか判断しづらいところやとは思いますが、そこはちょっと考えてもうたほうがいいのかもしれんですねというふうには思います。

○浜口一利委員長 観光課長。

○濱口観光課長 委員おっしゃるとおりだと思います、さっきも話しさせていただきましたが、状況を見て観光協会等と相談して旅館事業者の方々とも相談した上で、そのときには判断したいというふうに考えております。

○浜口一利委員長 よろしいですか、それで。

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○浜口一利委員長 よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○浜口一利委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 意見はないんですけれども、委員長報告にこういう懸念が委員の中から出たということを付記しておいていただきたいというふうに思うんです。

○浜口一利委員長 それでは、以上で審査を終わります。

これで付託された案件は、全て説明を受けました。

続いて、採決に移る前に、委員の皆さんで討議したい案件はございませんか。

(「なし」の声あり)

○浜口一利委員長 よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○浜口一利委員長 それでは、これより採決を行います。

お諮りいたします。

議案第93号、令和2年度鳥羽市一般会計補正予算（第1号）について、原案どおり可決することに賛成の諸君は起立を願います。

(起立全員)

○浜口一利委員長 ありがとうございます。起立全員であります。

よって、議案第93号は原案どおり可決することに決定しました。

以上で当委員会に付託されました案件の審査は終了しました。

これで委員会を終わりたいと思いますが、本委員会における委員長報告につきましてはご一任をお願いします。

これもちまして予算決算常任委員会を散会します。

(午前10時38分 閉会)

---

委員長はこの会議録をつくりここに署名する。

令和2年3月31日

予算決算常任委員長 浜 口 一 利